

9. 四国（地域別調査機関：四国経済連合会）

（－：回答が存在しない、○：主だった回答等が存在しない）

分野	景気の先行き判断	業種・職種	景気の先行きに対する判断理由
家計 動向 関連	良くなる	○	○
	やや良くなる	乗用車販売店（営業担当） 観光名所（職員）	・新型車発売により来客数は増加しており、今後期待できる。 ・建物の改修工事が終わり、入場者、観光客も増えてくる。
	変わらない	商店街（代表者）	・再開発事業を進めており、それによる伸びを期待している。
		一般小売店〔生花〕（経営者）	・消費者はスーパーやホームセンターなどの大型店に行く傾向が強く、専門店を押されぎみである。
		百貨店（営業担当）	・婦人用品及び雑貨が不調であった。ブランド商品群は相変わらず好不調が見られる。また、高額商品も前年に比べ不調に終わった。
		百貨店（売場担当）	・一部のブランドを除き高級品の売上減少が目立つ。必要なもので比較的質の良いものが安ければ買うが、必要でないものは安くても買わない。地方経済や一般市民まで景気回復の影響が波及するにはまだまだ時間が掛かる。
		スーパー（店長）	・暖かい日が続いているので冬物が売れない。
		スーパー（統括担当）	・実際の収入は全く増えていないので、消費の面からも景気が良くなるとは思えない。
		衣料品専門店（経営者）	・気象庁の3か月予想も暖冬か平年並みの予想であり、コート等の防寒衣料の売上が伸び悩む。
		家電量販店（営業担当）	・販売単価が低下しており、これを上げるには、多少時間が掛かる。
		乗用車販売店（従業員）	・新型車効果もなく、変わらない。ガソリンの高騰も落ち着いたが、元の価格まで下がらないと買い控えの傾向を打破できない。
		乗用車販売店（従業員）	・客はまだまだ慎重である。
		乗用車販売店（管理担当）	・マスコミ報道とは裏腹に、地方では、景気の高揚はなく、個人所得も増えていない。
		住関連専門店（経営者）	・販売量が前年より継続して減少している。
		一般レストラン（経営者）	・昼は一定の来客数があるが、車での通勤が多いため、飲酒運転問題の影響から週末以外の夜の来客数は激減している。
	旅行代理店（従業員）	・年末年始は例年以上に家族・グループ旅行に出掛ける層が増えている。	
	通信会社（支店長）	・番号ポータビリティ導入に合わせた新商品の投入や宣伝、マスコミ報道と話題は多いが、思った以上の市場活性化効果は出ていない。	
	通信会社（営業担当）	・番号ポータビリティが開始され、先行き不透明である。	
	観光名所（経営者）	・観光客数が増加する見通しが立たない。	
	美容室（経営者）	・客単価が前年同月との比較で若干低いものの、来客数は増加している結果、総売上には変化が無い。	
住宅販売会社（従業員）	・展示場の来場者数は減少傾向にあるが、具体的な商談数等は変わっておらず、今後もあまり変化はない。		
その他住宅（住宅ローンセンター）	・今後は再開発事業が落ち着いてくることが予想されるので、急な変化は望めない。		
やや悪くなる	商店街（代表者）	・暑い日が続いて秋物のスタートがかなり遅れており、それが冬物商戦にも影響してくる。11月、12月の初旬にかなり寒くならないと、年末年始、今まで以上に厳しい状況が続く。	
	設計事務所（所長）	・完成前の分譲マンションの物件が、住宅情報誌の中古欄に載るようになっていく。	
	設計事務所（職員）	・全体の仕事量が減少傾向にあるため、限られたパイの取り合いがこれまで以上に激化する。加えて、大手企業の参入により、一層競争が激化する。	
悪くなる	一般小売店〔酒〕（販売担当）	・アルコール飲料は、かつてのタバコと同じ道を歩んでいる。飲酒は社会の害悪という風潮が定着しそうである。	
	スーパー（店長）	・寒くないので冬物が売れない。気候が良すぎることから、野菜の単価が下落したままで上昇しない。	
企業 動向 関連	良くなる	輸送業（経営者）	・旅行など余暇へお金を回せるというのは、経済的余裕の表れである。
	やや良くなる	○	○
	変わらない	一般機械器具製造業（経理担当）	・大型クレーンの総需要の伸びは当面続く。ただ、高稼働は特に都市部に顕著で、地方との格差はまだ残っている。

	一般機械器具製造業 (経理担当)	・産廃業界の景気は、受注・回収の面からも堅調もしくは上向きである。	
	建設業 (総務担当)	・工場増設の見積依頼が数件来ているが、価格競争が激しく、成約には結び付かない。	
	輸送業 (役員)	・主な荷主の動向を聞いても、生産・販売等に大きな動きが見られず、2、3か月は現在の状況で推移する。	
	輸送業 (支店長)	・貨物量は今後上向き傾向と思われるが、紙関係で運賃の一部値下げ基調もあり、水をさされそうである。	
	金融業 (融資担当)	・取引先の倒産による資金需要など、後ろ向きの資金が増加している。	
	広告代理店 (経営者)	・一部の得意先には新規出店等の明るい話もあるが、県外資本との競争激化により閉店など規模縮小計画もあり、格差がでてきている。したがって結果として広告出稿は変わらない。	
	公認会計士	・最近、民事再生法の申請をする企業が増加してきており、それに伴い売掛金の回収がスムーズに行かない企業も出てきている。将来に対して、不安を持っている人が多い。	
やや悪くなる	電気機械器具製造業 (経営者)	・各メーカーの増産体制確立に伴う供給過剰により、大幅に価格が下落している。	
	不動産業 (経営者)	・個人住宅、個人用の土地のオファーが大きく減少している。金利上昇等で、不動産に対するマインドが冷えてきている。	
悪くなる	食料品製造業 (従業員)	・新商品・既存品共に売行きが悪く、前年比、前月比共に半減どころではない状態になっている。	
雇用 関連	良くなる	—	
	やや良くなる	人材派遣会社 (支店長)	・県内各地の量販店及び新しくオープンするショッピングセンター、モールのニーズは増えてきている。
		職業安定所 (職員)	・求職者の増加傾向が弱まりつつある。
	変わらない	人材派遣会社 (支店長)	・新規採用を考えているような企業は見当たらない。
		求人情報誌製作会社 (編集者)	・求人ニーズはやや好調である。また、県内企業も製造業は軒並みフル操業だが、3～4年後を見ると不透明感が強く、雇用も慎重である。
	やや悪くなる	民間職業紹介機関 (所長)	・企業側に採用に関する充足感があり、採用意欲が鈍ってきている。また、求人数の伸びも夏場以降鈍化している。
悪くなる	—	—	